



横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例に基づく 令和5年度の実施状況について

1 脱炭素社会の形成の推進に関する施策の実施状況について 2

【掲載取組】

基本方針名	報告書 掲載頁
(1) 基本方針 6 市役所の率先行動	35 頁
(2) 基本方針 7 気候変動の影響への適応	61 頁

1 脱炭素社会の形成の推進に関する施策の実施状況について

(1) 基本方針6 市役所の率先行動

局・統括本部ごとの取組実績等

にぎわいスポーツ文化局

1 事業の実績と取組など

- ・2022(令和4)年度の温室効果ガス排出量は、2013年度比 22.3%減の 1.6 万トンとなりました。
- ・2023(令和5)年度のエネルギー消費量は、2013年度比 7.1%減の 388TJとなりました。
- ・2023(令和5)年度は、新たに横浜美術館などに LED 等高効率照明を導入し、LED 化率は 59%となりました。
- ・横浜 BUNTAI 及び横浜国際プールなど5施設に太陽光発電設備を導入しています。
- ・「横浜マラソン 2023」では、再生ポリエステルを使用した参加賞Tシャツの制作及びカーボンオフセット等を実施しました。また、「2023 世界トライアスロン横浜大会」では、ブルーカーボンオフセット等を実施しました。
- ・横浜美術館では、大規模改修を通じてエネルギー効率の高い空調機器へ更新しました。
- ・創造的イルミネーション事業「ヨルノヨ」では、風力発電や太陽光パネル・蓄電池の活用、次世代自動車からの電力一部供給等を実施しました。
- ・一般公用車の所有はありません。

<温室効果ガス排出量及びエネルギー消費量の状況> 上段:実績、下段:削減率(基準年度比)

	基準年度 (2013年度)	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
温室効果ガス排出量 [万 t-CO ₂]	2.1	1.6	1.7	1.6 (▲22.3%)	—
エネルギー消費量 [TJ]	418	344	357	363	388 (▲7.1%)

<対策の取組状況>

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
LED 等高効率照明の導入	31%	35%	47%	59%
太陽光発電設備の導入	3施設	3施設	3施設	5施設
一般公用車における次世代自動車等導入	—	—	—	—

2 職員の取組

- ・全職員を対象とした環境研修を受講するとともに、クールビズ・ウォームビズやグリーン購入を推進しました。また、会議等においてプロジェクターやディスプレイを活用するなど、ペーパーレス化に取り組んだほか、WEB会議等の新しい働き方を推進することで、温室効果ガスの排出削減につなげました。

(2) 基本方針7 気候変動の影響への適応

取組実績、今後の取組

3 熱中症・感染症等分野の適応策の推進

- 空調設備が未設置のスポーツセンター等の体育室について、特定天井脱落対策工事と同時施工を原則として、エネルギー効率の高い空調設備の設置を順次行いました。今後も引き続き、設置を進めます。